

年頭のご挨拶

社団法人 京都府木材組合連合会
会 長 辻 井 重



府木連会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。元日から大雪で荒れた天気となりましたが、健やかに新年をお迎えのことと思います。

昨年は政治・経済・社会情勢が混迷する中、大学新卒者の就職内定率が過去最悪となり、雇用問題が最大の課題となっております。

このため、新設住宅着工戸数は約81万戸と落ち込み、中小零細業者が多い木材産業は存亡の危機に立たされております。

一方、環境問題は世界最大の関心事となり、昨年、京都府地球温暖化対策条例の一部改正が成立。公共建築物等木材利用促進法が施行されるなど、国民の林業・木材産業に対する関心が非常に高くなってまいりました。

ただ、京都府内産木材に関しましては、供給利用体制（素材生産、製材、流通、設計士育成等）が十分でなく、条例や法律の円滑な施行には、京都府をはじめとする行政のてこ入れが必須の条件となります。

本会といたしましても、京都府などと連携し協力する中で、公共建築物などで木材を利用しやすくするため、建築基準法、消防法等の見直しを強く国に求めるとともに、～DO YOU KYOTO?～（環境にいいことしていますか？）が府民運動へと発展するよう組織を挙げて取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

本年も厳しい状況が続きますが、ますますのご健勝とご多幸を心よりお祈りし、年頭のご挨拶といたします。

【平成23年重点活動計画】

- ① 低炭素社会の実現に向け、地元産木材の利用推進
- ② 合法木材供給制度（グリーン購入法）普及定着
- ③ 「木づかい推進運動」の取組

ホームページを更新、ご覧ください。<平成22年木連・林災防活動等>